

ストックホルム世界水週間 2025 アジア・太平洋フォーカスセッション

3. アジアの水・エネルギー・食料・生態系の未来:水力発電と自然共生型解決策の調和

8月26日(火) 11:00-12:30 CEST (日本時間 18:00~19:30) 会場 Room C1, Level 2/オンライン

セッション概要:

本セッションでは、水力発電と自然共生型解決策(NbS)の相互作用を、水・エネルギー・食料・生態系(WEFE)ネクサスの視点から掘り下げ、生態系サービス、気候リスク、そしてアジアにおける洪水や干ばつの管理に焦点を当てます。流域や地域レベルでの土地利用計画の重要性に加え、生物多様性を守りながら脆弱な地域社会を活性化できるよう、WEFE間のトレードオフをうまく調整するガバナンスのあり方を取り上げます。

アジアでは、気候変動の影響により水・エネルギー・食料の安全保障が一層厳しくなり、洪水や干ばつの発生頻度や被害規模も拡大しています。水力発電は再生可能エネルギー、灌漑、水管理において欠かせない役割を果たしていますが、計画が不十分な場合、生態系の破壊や地域住民の移転を招き、長期的な持続可能性を損なう恐れがあります。一方、水力発電の開発とNbSを組み合わせることで、気候変動による影響に対して強靱で公平、かつ環境に配慮した成長への道が開けます。

本セッションでは、分野ごとの取り組みから、気候リスク、社会文化的な強靱性、生態系の持続可能性を一体的に考慮する真のWEFEネクサス・アプローチへの転換を探ります。アジア各地域からの登壇者が、水力発電とNbSを組み合わせ、WEFEの安全保障を高め、地域社会のレジリエンスを強化し、アジアの水・食料・エネルギー・環境の未来を守るための実践事例やツール、革新的な取り組みを紹介します。

共催機関:

- ・ アジア災害防止センター(ADPC)
- ・ グローバル・インフラストラクチャー・バーセル財団(GIB)
- ・ 国際水管理研究所(IWMI)
- ・ IUCN アジア支部
- ・ ユネスコ北京事務所

プログラム

11:00- 11:02 CEST	セッション紹介 朝山 由美子 氏 APWF・日本水フォーラム チーフ・マネージャー
11:02- 11:05	開会挨拶 マーク・スミス 氏 国際水管理研究所 (IWMI) 所長
11:05- 11:30	各登壇者による事例紹介(各 5 分) ・ モーシン・ハフィーズ IWMI 戦略プログラム・ディレクター - 水、食料、生態系 AoW-WEFE ネクサス政策、政策革新科学プログラム・リーダー ・ セナカ・バスナヤケ ADPC 気候サービス プログラム・リーダー ・ チェンチェン・キアン グローバル・インフラストラクチャー・バーゼル財団 (GIB) シニア・マネージャー ・ オリヴィエ・シャソ国際自然保護連合 (IUCN) アジア地域局 保護・保全・遺産地域 シニア・プログラム・オフィサー ・ 杉浦愛 ユネスコ北京事務局 自然科学プログラム・オフィサー
11:30- 12:05	パネルディスカッション ・ パネリスト: 上記全登壇者 ・ 会場モデレーター: 沖 大幹 教授 東京大学 総長特別参与・工学系研究科 教授 (日本水フォーラム副会長、2024 年ストックホルム水大賞受賞者) ・ オンラインモデレーター: レイモンド・ヴァリアント 氏 GWP 東南アジア地域コーディネーター
12:05- 12:27	聴講者との質疑応答 ・ 会場モデレーター: 沖 大幹 教授 ・ オンラインモデレーター: レイモンド・ヴァリアント 氏 GWP-SEA 地域コーディネーター
12:27- 12:30	まとめ: 行動への呼びかけ